

講演会を開催

ホーニング加工がテーマ

砥粒加工学会

砥粒加工学会の次世代

固定砥粒加工プロセス専

門委員会は8月26日、精

密工学会 超砥粒ホイー

ルの研削性能に関する研

究専門委員会と共同で

東京・千代田区の埼玉大

学東京ステーションカレ

ッジで「プラトー・ホーニ

ングの最新動向・機能面

創成・潤滑面創成として

の研削加工」を開催し

た(写真)。

ホーニング加工とは、

ホーンと呼ばれる砥石を

一定の力で円筒内面に押

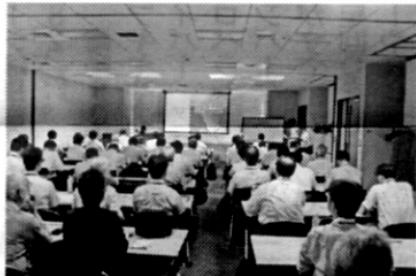
し当てながら行う研削加

工法。自動車のエンジン

など内燃機関のシリンド

ーの仕上げ加工などに利

用されている。シリンド



一面にクロスハッチと呼ばれる独特な表面テクスチャを形成することが可能になり、摺動面・潤滑面の加工に適合する。

プラトー・ホーニング加工は、ホーニング加工の仕上げとしてクロスハッチが形成された表面を平滑化するもの。通常のホーニング加工よりも平滑な面を得ることができ

る。

この内面仕上げはエン

ジンの性能を左右する重要な研削加工であるため、近年、大いに注目され

ている。この日の講演会ではこのホーニング加工法をテーマに4人の講師を招いて講演を行った。内容は以下のとおり。

▽「自動車エンジンのシリンドーボアに要求される表面性状と今後のホーニングへの要望」白木敏文(日産自動車)▽「プラトー・ホーニング加工面の表面粗さ評価手法の研究について」プラトー・表

面に最適化された粗さパラメータとロバストフィ

ルタ」吉田一朗(法政大学)▽「内径ホーニング盤の現状と今後の展望」澤井健太(トヨト

エイティック)▽「超音波振動援用による高性能ホーニング加工」水谷秀行

(中部大学)